



2020年3月12日

各位

会社名 ラクスル株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝  
 (コード: 4384、東証第一部)  
 問合せ先 取締役 CFO 永見 世央  
 (TEL. 03-6629-4893)

### 2020年7月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年3月12日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2019年9月12日に公表した2020年7月期(2019年8月1日~2020年7月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2020年7月期通期業績予想数値の修正(2019年8月1日~2020年7月31日)

	売上高	営業利益	non-GAAP 営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	22,000 ~23,000	△560 ~△660	△500 ~△600	△660 ~△760	△770 ~△870	△27.44 ~△31.00
増減額(B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年7月期)	17,168	143	143	130	69	2.51

(注) non-GAAP 業績値は、財務会計上の数値(GAAP、日本基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社は non-GAAP ベースで予想値を開示しております。具体的には、株式報酬費用を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

#### 2. 修正の理由

当期においては、当社の企業価値向上の源泉となる売上総利益及びその前提としての売上高について前期比30%以上の成長を目標とし、プラットフォーム価値を高めるための再投資を継続することが当社の企業価値向上にとって最重要であると考え、積極的に投資を行ってまいりました。

売上高につきましては、2020年7月期第2四半期累計期間においては、前年同期比48.7%と順調に成長を続けておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今期末まで続いた場合(レンジの上限については第3四半期末で事態が収束)を想定し、通期においては前年同期比28.1%~34.0%を見込んでおります。印刷事業(印刷、集客支援、TVCMサービス)においては、計画を上回るペースで新規顧客の獲得が進んだことに加えて、当該新規顧客及び既存顧客のリピート購入も好調に推移しました。また、運送事業においては、ユーザー(荷主)獲得のための営業チームの採用拡大及び運送キャパシティの確保等により、一般貨物を中心に成長を続けております。なお、本業績予想については新型コロナウイルスの影響を反映しておりますが、当初開示予定(新型コロナウイルスの影響が無い前提)であった業績予想は、前期比39.8%の約24,000百万円であります。

利益面につきましては、当社企業価値の源泉である売上総利益が4,800百万円～5,100百万円となる見込みです。営業利益（non-GAAP）につきましては、広告宣伝費及び運送事業への積極的な成長投資による販管費の増加から△500百万円～△600百万円を見込んでおり、経常利益につきましては銀行借入による支払利息及び転換社債型新株予約権付社債の発行費用等により△660百万円～△760百万円を見込んでおります。

なお、当期純利益につきましては△770百万円～△870百万円を見込んでおり、当期の業績を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2020年7月期第2四半期の決算において繰延税金資産130百万円を取り崩し、法人税等調整額に計上することといたしました。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以 上